

発見!



甲賀の自然

～身近な甲賀の自然から、興味深い話題を紹介します～

第9回

甲賀市だけで見つかる 貝化石

甲賀地域や甲南地域で「ズニン」などと呼ばれる青灰色の粘土層から、貝の化石を見つけたことがある方もおられるのではないのでしょうか。その中には、大型でふくらみの大きい二枚貝もよく見つかります。

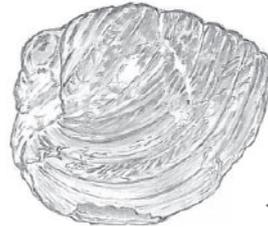
この貝は、甲賀地域や甲南地域付近の古琵琶湖層群だけにしかみられない絶滅した貝で、ムカシフクレドブガイと呼ばれています。

この貝の化石は江戸時代から知られていたようです。享和元年(1801年)に出版された木内石亭の「雲根志」という本には、甲賀町神保、隠岐、甲南町稗谷から赤貝が多産すると書かれていますが、おそらくこのムカシフクレドブガイの化石のことでしょう。

ムカシフクレドブガイは殻の表面に褶があり、軟らかい泥への沈み込みを和らげるはたらきをしたと思われます。甲賀地域や甲南地域の付近に琵琶湖の

もとになる湖があった290万年～250万年前、深い湖の底でムカシフクレドブガイが生息していたのでしよう。

さて11月になると、茂っていた草も少なくなり、ガケや河原の地層を観察しやすくなります。地層や化石を調べるにはよい時期となります。



◀ムカシフクレドブガイ化石

問い合わせ **みなくち子どもの森自然館**

☎ 63-6712 ☎ 63-0466

11月の休園日

2日(月)、4日(水)、9日(月)、16日(月)、24日(火)、30日(月)

鳥獣害対策ニュース No.21

今回は冬期の鳥獣害対策についてご紹介します。

● 狩猟期間が始まります

県では11月15日から翌年2月15日(二ホンシカに限っては3月15日)まで狩猟期間となります。入猟にあたって狩猟者に対して徹底した指導を行っています。不慮の事故を防ぐためにも狩猟者に分かりやすい服装で山に入るなど、十分に注意してください。

● 狩猟免許取得支援補助事業

市では狩猟免許取得に対する補助制度を実施しています。

対象 市内に住所を有し、新規(更新を除く)に狩猟免許を取得した人

条件 1人1回限り。申請は当該年度の試験に限る。また、2種類以上の狩猟免許を取得した場合は、1種類のみとする。

受付期間 11月中

※補助額、提出書類等詳細については下記までお問い合わせください。

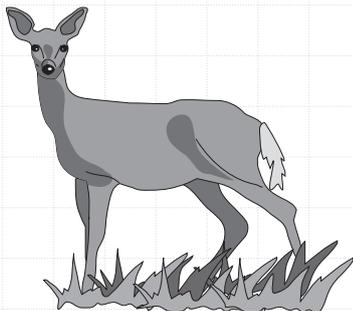
● 冬期における野生獣への「餌付け」に注意しましょう

野生獣を農地に引き寄せないためには、その原因と

なるエサ場を作らないことが重要となります。

特に、山にエサが少なくなる冬期は、その対策が行われていないと、野生獣は集落付近の水田に出没し、落穂や雑草などの「エサ」を食へるようになります。これが無意識のうち「餌付け」となり、冬場が過ぎても、その場には「エサ」があると認識し、1年を通して被害をもたらす原因となります。

こうした無意識の「餌付け」を防ぐため、水田の秋耕起や冬期における雑草管理等に努めていただき、集落付近に近づけないよう心がけましょう。



問い合わせ

農業振興課

鳥獣害対策係

☎ 65-0734

☎ 63-4592